

令和2年度田中児童館目標及び報告

田中児童館

目 標 (P)	実 践 (D)	気付き・反省 (C)	次への期待 (A)
子育て支援の強化	<p>親子館事業の充実 (在宅育成事業)</p> <p>親子館事業の充実 (親子との信頼関係を築く・ニーズに合ったプログラムを行う・夏休みの居場所づくり)</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響により、講師を招いての実施はできなかった。親子で製作やおままごとをしたり、母親同士で情報交換をしたりして過ごした。母親からは、落ち着いて話ができる貴重な時間になっていと好評であった。</p>	<p>街中では子連れでゆつくり過ごせる場が少なくなっている。そのような現状で、児童館が親にとつても気分転換や息抜きできる場所になるよう、居心地のよい環境づくりに尽力していきたい。</p>
サードスペースの質の向上	<p>SNSの活用 (よいこネットによる行事の配信・緊急時の連絡)</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響により例年通りの行事が実施できなかったため、残念に感じている保護者が多くいた。そのため季節の行事に関しては、行事回数を増やすことで利用者への密を避けての実施に努めた。</p>	<p>感染症対策を継続し、乳幼児親子が安心して過ごせることのできる環境を整えていきたい。子どもや年齢や人数に応じて柔軟に対応していきたい。また、職員のスキルアップに努めていききたい。また、職員の得意を生かしたプログラムを積極的に取り入れ、内容の充実を図っていきたい。</p>

目 標 (P)	実 践 (D)	気付き・反省 (C)	次への期待 (A)
<p>子どもの質の向上</p> <p>児童育成の拡充</p>	<p>ボランティアの育成と 協力行事の充実 (地域連携推進事業)</p>	<p>地域ボランティアによるおはなしの会、M'sアンサンブル等の行事を実施。ポテトキッズ(甲南大学文化児童福祉研究会)は大学の判断により実施できず。</p>	<p>おはなしの会を月1回、小学生向けに実施した。M'sアンサンブルによるセタコンサートでは、乳幼児親子が和やかな時間を過ごした。</p> <p>引き続き、ポテトキッズは行事計画を確認し、子どもたちが安全に遊べるよう配慮する。M'sアンサンブルとも協力し、行事計画を進めていきたい。職員の紹介による地域ボランティアも積極的に招き、行事の充実を図っていきたい。</p>
<p>地域との連携を図る</p>	<p>教育機関との連携</p>	<p>小学校との連絡を密にすることで、子どもの保育に関する情報共有を図る。保護者、小学校、児童館の連携。</p>	<p>学校や家庭での子ども様子の知ること、一人一人に合わせたより良い関わり方に気付くことができる。小学校と児童館の連携が、保護者との信頼関係を築くうえでも必要である。</p> <p>保育所や小中学校と連絡を取り合い情報共有に努める。子どもや保護者への対応については小学校と連携し、信頼関係を築いていきたい。</p>
<p>地域との共生</p>	<p>(子育てコミュニケーション育成事業) 日曜開放委員と共に地域の親子を対象に行事を行う</p>	<p>年10回の行事を実施。(新型コロナウイルスの影響により、今年度は1回の実施。)</p>	<p>年間10回の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、小学校の運動場での行事のみ実施した。楽しみにしていった地域の親子からは、残念との声が多くあった。</p> <p>地域との繋がりを強みに、今後も協力関係を継続していく。地域の方が中心となった活動を来年度も続けていきたい。</p>

<p>地域との連携を図る</p>	<p>ふれあいのまちづくり協議会の協力を得て、よりよい地域を目指す</p>	<p>安全クリーンプートルールを年2回実施。 (1回目は雨天により中止。2回目は少人数でのエスコを実施。)</p>	<p>地域の方との館外行事で子どもたちもパトロールを楽しみにしていたが、実施できず残念であった。1回目については、雨天のプログラムも充実させておく必要があった。2回目は、事前に行われたため、少人数でエスコを楽しみることができた。</p>	<p>児童館周辺の「まち歩き」をすることで子ども自身の危機回避能力の向上を図りたい。地域の防災広場や住吉川にて、地域の方から防災について学ぶ機会を設けたい。</p>
<p>年間利用数</p>	<p>児童保育クラブ年間利用者予定数 (23,000名) 自由来館年間予定数 (5,500名) の受け入れをする</p>	<p>児童保育クラブ 11,878名 自由来館 19,997名 受け入れがあった。</p>	<p>緊急事態宣言等の影響により、月別の利用者数に変動がみられる。</p>	<p>放課後児童クラブの児童数は年々増加している。職員配置や行事の実施方法等を見直し、過密への対策を行いたい。</p>

地域との共生